

# MELON

# 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2011年1月★第91号

## 謹賀新年



### 公益財団法人として、大きな飛躍の年 — 2011年

MELON会員のみなさま、2011年の新春をいかがお迎えでしょうか。21世紀の到来を興奮のうちに迎えた2001年から、早くも10年です。「環境の世紀」を期待しましたが、残念ながら、国内的にも国際的にも「経済を」「雇用を」「財源を」という強い声に押され気味で、ジグザグを辿っています。

2011年は、私たち財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）にとって記念すべき年になりそうです。現在、公益財団法人の認定を受けるべく申請中ですが、順調に進めば、春には、宮城県でも数少ない公益財団法人となる予定です。免税などの特典があるほか、公益性の高い環境団体として、社会的認知がさらに進むことになります。

しかし公益財団法人の認定は、いわば制度上、法律上のあり方の変化にすぎません。草の根的な、地域に根ざした環境NGOとしてのMELONの実質的な活動は変わりません。生産者・流通業・市民がつくるネットワークとしてのMELONの性格に、基本的な変化はありません。

2010年には生物多様性条約締約国会議（COP10）が開催され、名古屋議定書が調印されました。温暖化問題の京都議定書に続く、日本の都市名を冠した2つめの国連文書です。Kyotoのように、Nagoyaも持続可能な未来へのキーワードとなることでしょう。

2011年に生まれる赤ちゃんはかなりの確率で、2101年、22世紀を目のあたりにすることでしょう。22世紀を迎える彼らに、私たちはどんな地球を託せるでしょうか。

50年後、100年後の地球を見すえつつ、2011年も「いま・ここで・できる」足元の活動を大事にしていきたいと思います。新生MELONを引き続き、これからも力強くご支援ください。



理事長 長谷川 公一

**MELONとは** 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク — 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

### MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
  - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
  - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
  - 年5回の情報紙をお届けします。
  - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

### Index

- P1. 理事長から新年の挨拶
- P2. COP10 取材レポート
- P3. COP10 参加報告・活動検討会レポート
- P4. ボランティア活躍中！  
かんきょう読み聞かせ
- P5. 協同組合のコーナー  
MELON20周年を目指せ！  
50人リレートーク
- P6. MELONcafe プチ講座レポート  
手動式生ごみ処理機の実験開始
- P7. ストップ温暖化センターみやぎ通信
- P8. 投稿欄、イベント一覧、編集後記

## COP10 取材レポート

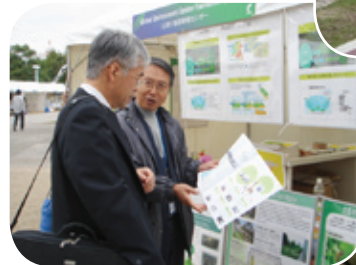
- 参加者**
- 10月22日(金)～24日(日)  
布田剛評議員・小林幸司事務局員
  - 10月25日(月)～27日(水)  
今野勇評議員・菅田華江事務局員
  - 10月28日(木)～30日(土)  
冬木勝仁理事・廣重朋子事務局員

10月18日～29日に愛知県名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催されました。世界が生きものの未来を守るために何をするか、2020年までの目標を決める重要な会議であり情報が集まる場であることから、MELONから6名がCOP10と周辺イベントに参加しました。会場ではたくさんのブース展示やフォーラムが開催されており、随所にMELONの活動のヒントが隠されていました。

NGO団体と企業が協働して生物多様性の保全活動をしているブースが多くありました。例えば、サラヤ(株)とNPO法人ボルネオ保全トラストジャパンが取り組んでいるボルネオでの野生動物の保全活動と連携や、積水ハウス(株)とNPO法人生態系教育センターが取り組んでいるWeb上から無償で取得できる生態系の環境教育のプログラムなどがありました。あらためて、MELONでも企業と共に宮城の自然環境を改善できるようにしなければいけないと思いました。その他にも、行政での取り組みや、学生の取り組み、団体の取り組みが工夫を凝らし



フェアではこんなパフォーマンスも



交流フェアのブース取材



本会議最終日 議長の松本環境大臣

た方法でPRしていました。

また、本会議場での、世界の生物多様性を守る方策の名古屋議定書や2020年に向けた生態系保全の目標「愛知ターゲット」を採択するための会議に同席することができました。MELONでも、先進国と途上国の対立があり各国の思惑や主張が飛びかう、この会議の場を体感できたことは何よりの収穫でした。

### 宮城県内の生物多様性の取り組みは？

COP10で名古屋に行って改めて感じたことがあります。それは宮城県での生物多様性の取り組みは結構進んでいるということです。

まず気づいたのは生物多様性交流フェアに大崎市が単独でブース出展していたことです。政令指定都市以外の地方都市で単独でブースを出していたところはほとんどなかったと思います。蕪栗沼と化女沼が、湿地の生態系を守る国際条約であるラムサール条約の登録湿地になっていることが大きいと思いますが、やはり大崎市として生物多様性の保全に力を入れていることがわかります。

大崎市では、野鳥の越冬地となる沼地周辺の田んぼに冬季も水をはり、生態系を守り自然と共生する「ふゆみずたんぼ」という農法がおこなわれており、名古屋のブースでもこの「ふゆみずたんぼ」の紹介を行っていました。

また、COP10フォーラムとしてさまざまな主体が意見発表を行う中のひとつで、「水田決議関連フォーラム」という発表では、MELON理事で日本雁を保護する会会長の呉地正行さんと大崎市のNPO法人田んぼ理事長の岩淵成紀さんが中心となり、アメリカや韓国の研究者と連携して発表を行っていました。その中では、無農薬の

田んぼの豊かな生態系が多くの生き物をはぐくみ、東南アジアでは収穫する米だけでなく、田んぼでとれる小魚なども貴重な栄養源となっていることなどが紹介されていました。

この他にも県内では田尻地域の「田んぼの生き物調査プロジェクト」や鹿島台の「かしまだいシナイモツゴ郷の米」など生態系保全の取り組みが行われており、今後MELONとしても地元の取り組みに改めて注目したいと思います。



水田決議関連フォーラムで発表するアメリカのMatthias Halwart氏



大崎市のブース

参加期間中の報告をホームページ内のCOP10参加ブログに掲載しています。現地の様子や感想を写真と共に載せていますので、ぜひご覧ください。

# 「MELON COP10参加報告・活動検討会」を開催

日 時：12月4日(土) 13:00～15:30  
 場 所：戦災復興記念館4階研修室 参加者：34名  
 基調講演者：道家哲平氏（財団法人日本自然保護協会）  
 参加報告：・布田剛評議員（せんだい・みやぎNPOセンター）  
 ・今野勇評議員（宮城県地球温暖化防止活動推進員）  
 ・冬木勝仁理事（東北大学大学院農学研究科准教授）



基調講演：道家哲平氏  
（財団法人日本自然保護協会）

COP10の参加報告と得た情報をもとに生物多様性保全に向けた活動を検討する会を行いました。

まず始めに、NGOの代表として最前線で活躍している道家哲平さんをお招きし、COP10についてお話いただきました。その概要をQ & A形式でご紹介します。

## ■生物多様性条約とは？

1992年の地球サミットで署名され、「地球の上に生きる生命（いのち）の条約」と紹介されています。人と自然の関係を取り扱った条約であり、3つの目的があります。①生物多様性の保全②持続可能な利用（使う時には持続可能な方法で利用すること）③遺伝子資源からの利益の公正な配分[ABS]（動植物の成分や資源による利益は原産国と利用国で公平に分け合うこと）の3つです。COP10で国同士が最ももめたのが、③の利益配分に関することでした。

## ■COP10で決まったのは？

2020年までに取り組む目標「愛知ターゲット」、動植物の遺伝子資源利用と利益配分(ABS)の国際ルール「名古屋議定書」の2つが報道で取り上げられています。しかし、採択された決議は合計47あり、それらはその中の2つにすぎません。残り45では、「農業(水田)決議」「企業参画決議」「都市の行動計画」「SATOYAMA イニシアティブ」などが決まりました。それらの文章はすべて英語であるため、今は分析作業中です。

## ■COP10の結果が生活に直結する？

具体的な規制をかけるような条約ではないため、効力をすぐに発揮するものではありません。しかし、国家戦略を作るように義務化していることから、日本や地域の政策として取り組みの検討が始まるはず。政策次第で大きく生活に影響してくると思われます。

## ■愛知ターゲットとは？

2050年までの将来ビジョン、2020年までの中期ミッション、そして5つの戦略目標と20の数値を含む個別目標が決まりました。多角的な構成になっており、A. 間接的根本的な要因への対処（住民の気づきや補助金などの政策）B. 直接的要因の減少（生息地の破壊や外来種など）C. 多様性の状況の維持や改善（生息地の保護や遺伝子多様性の保持）D. 自然の恵みの強化（資源の確保や復元）E. 取り組みの強化（人と資金投資の拡大や知識技術の共有）です。今後国家戦略や県の戦略の基本モデルとなる重要な目標です。

## ■生物多様性の損失の事例は？

事例はありますが、幸いにも日本は多様性の損失を実感する事例は地球温暖化の事例に比べて少ないです。ただ、目に見えるような状態になってから取り組むのでは遅く、生物多様性では臨界点を超える前に先手を打つことが重要です。

## ■企業に求められることは？

決議の中では、自社の環境に及ぼす影響のアセスメント、森林認証FSCや漁業認証MSCなど認証制度の活用、企業と生物多様性イニシアティブ（取り組みを宣言する仕組み）への取り組み・意見交換・情報交換等が挙げられています。

## ■これから何をすればいいのか？

COP10を忘れさせない気運作り、地域の制度に注目すること、そして目標達成のためのアクションをNGOの活動計画に組み込んでいくことが必要だと思います。

基調講演後は、MELON参加報告と、現地で得た情報からMELONへの活動提案が出されました。生物多様性保全活動マップの作成や、動植物園との連携、食生活と生物多様性の調査などいくつかの活動が提案され、さらに会場内からもアイデアが寄せられました。

MELONでは、これらのご意見をもとにこれからの活動について検討していきます。共に活動を行いたい方はぜひMELONまでご連絡ください。



参加報告：左から今野評議員・布田評議員・冬木理事

## ボランティア活躍中！

MELONではイベントの準備や運営のお手伝いや、情報紙発送作業などのボランティアを会員に限らず広く募集しています。

最近では、イベントなどスポットとしてのボランティアだけでなく、日常業務のお手伝いに定期的に来てくれるボランティアが増えています！

MELONの活動は、調査活動やイベントの企画運営、各種会議の実施などさまざまですが、日常業務ではチラシの発送作業や新聞情報の収集、アンケート集計や掲示物の作成などの作業がたくさんあります。例えば、今MELONの携帯サイトの作成はボランティアがしているんです。MELONの活動は事務局員だけでは成り立ちません。ボランティアの方々の協力があってこそです。部会プロジェクトの活動でも新たなメンバー参加をいつでも大歓迎しています。

これからも、いろいろな方がMELONに関わり、アイデアを出し合ったりしながら、活動を広げていきたいです。

### \* ボランティアポイント制度があります \*

MELON会員の方は、MELONの活動にボランティア参加すると1回につき1ポイントがつきます。5ポイント貯まると1000円分のMELON協力商品券と交換できます。

イベントのお手伝い、部会例会の参加、日常業務作業などでポイントがつきますので、ご活用ください。



## ドナウ川のトンボのとぶ島

18年も前のことを思い出しました。製鋼工場に勤めている友人を訪ねた後、私たちはハンガリーのどかな田舎道を長距離バスでブタペストに向かっていた。国営工場は採算がとれないため、自分の職場もおそらくもうすぐ閉鎖になるだろうと、さびしげに友人は語っていたのでした。私たちが訪れたのが良かったのかどうか・・・考えながら窓の外を見ていました。

この頃は、次々とセンセーショナルな事件が起こるので、ひとつひとつ振り返るまもなく事が過ぎていきます。昔のことを思い出したのはハンガリーのアルミナ工場で溜めていた赤泥（ボーキサイトからアルミニウムやアルミナを作るときに出てくるカスで、強いアルカリ性です）がドナウ川の支流から流れ出し、ドナウ川にも達したという事故があったからです。危険な泥を中和せずにそのまま溜めておいたのはどうしてでしょうか。安全に操業を行うことは採算に合わなかったのでしょうか。

よし、ハンガリーの絵本を読んでみましょう。ハ

ンガリーやチェコではとてもいい絵本が出ています。繰り返しのストーリーがある、わかりやすい絵本がたくさんあります。マレークペロニカの「ラチとらいおん」（福音館）などは長年読まれ続けていますので、「してるっ！」という人もいるでしょう。今回は少



し新しい、バーリント・アーグネシュ 作、レイク・カーロイ 絵、内川かずみ 訳「とんぼの島のいたずら子やぎ」（偕成社、2007年）を読みましょう。ギダといういたずらっ子のやぎがいて、ある日サーカスをやめたトラが近所に引っ越してきます。「ママ、ママたいへんだよ。トラがねー。」「でも、ママ。ほくたち食べられちゃうかもしれないんだよー」ギダには大事件です。ギダは勇気をふるってトラを追い払おうとしますが、やがてトラと友だちになることの方がずっと勇気がいることに気がつきます。仲間とのつき合いや、おとなのおおらかさ、近所の人とのつきあいなど、なにげない出来事が、子どもの目をとおして描かれると、物語になり、その物語を通して子どもは大きくなっていく。一冊の中に人のあたたかさをギュッと詰めたような深みのある本で、絵も色も実に楽しいのです。ドナウ川にうかぶ小さな島、トンボたちがとぶ島。ハンガリーの人たちも私たちも、ほんとうはそういう世界を残したいにちがひありません。

## 各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

みやぎ生協からのお知らせ

### 「省エネチャレンジ!冬編」ホームページにUP中

お正月も過ぎ、1年で一番寒い季節を迎えますが、様々な工夫で冬でも省エネにチャレンジしてみましょ。ホームページから参加できます。

<http://www2.miyagi.coop/about/kankyoku/news/detail/17/>

参加した方の中から抽選で15名様に「エコなお掃除セット」を差し上げます。

#### 問い合わせ・連絡先

みやぎ生協生活文化部くらしの活動事務局  
〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2  
e-mail : sn.mkankyoku@todock.jp



## MELON20周年をめざせ! 50人リレートーク



第34回目の執筆者

柳谷明子さん

(オープンガーデンみやぎ  
前会長)

20数年前、我が家を新築することになり、どんな家を作るか主人と様々な家を見て廻りました。その過程で知り合った建築設計士さんの、言わば作品(木造在来工法)に住む事になったのですが、小さいながらも木の質感を活かした居心地の良さや、ちょっとした遊び心のある空間に満足しています。

庭仕事が趣味になったのは10年ほど前からで、新築当初は庭のことは全然頭にありませんでした。取りあえず庭木を数本植えていただき、あとは雑草取りの日々。子育てが一段落した頃、庭仕事に目覚め、オープンガーデンみやぎにも入会。いろいろ学ぶうちに、主人にも手伝ってもらいクリスマスローズを主体とした庭を手作りしました。

新築して20数年、庭が形になって初めて気が付いたことがありました。

リビングの大きな窓は四季の庭を映すピクチャーウィンドウ、建物が敷地の西側にあり西日や強い西風を遮るクリスマスローズに優しい設計、当時は珍

しかったガーデニングに大活躍のウッドデッキ、庭仲間にもお茶が出しやすい半オープンキッチン(台所が丸見えにならない利点)などなど。将来の為に相談して作っておいた訳ではなかったのに、時を経て家と庭が一体となった事に感激しました。

庭仕事が生活の一部になると、ウィスキー樽の天水桶やコンポストを設置し、ささやかですが環境も意識するようになりました。落ち葉の堆肥作りや生ゴミのダンボール・土のう袋での堆肥作りなどにも興味が湧き試していますが、我が家の生活に合う形を模索中です。また、早い時期からの適切な庭木の剪定はゴミを減らす事も学びました。20数年で大木になった庭木を眺めては、かつての無知の恐ろしさを実感しています。

一つ一つの庭が街並みを作り、美しい景観に繋がります。自分も楽しみながら役立てれば嬉しいですね。

… 次号執筆者紹介 …

早坂みどり氏

(特定非営利活動法人

森林との共生を考える会 理事)



## 毎月開催！ MELONcafe プチ講座

10月9日(土)「毛糸でかわいいアクリルたわし作り」  
 11月3日(水・祝)「卵型のリメイクキャンドル作り」  
 12月22日(水)「リメイクキャンドルで  
 キャンドルナイト」



10月：毛糸でかわいいアクリルたわし



11月：エッグキャンドル



尚絅学院大学でエッグキャンドルの絵付け

毎月、「オシャレですぐにできるエコ」をテーマにさまざまなエコ体験講座を行っています。

10月は若い世代をターゲットにしたキャンディ型のアクリルたわし作りを行いました。アクリルたわしを作りながら、アクリルたわしの特徴と活用法についてお話をしました。このアクリルたわしは特殊な繊維のおかげでちょっとした汚れなら洗剤なしで洗い流せます。

また、11月3日には100万人のキャンドルナイト関連講座の「卵型のリメイクキャンドル作り」を行いました。式場で使われたキャンドルを再利用して、たまごの殻を活用したエコかわいい卵形のキャンドルを作りました。

このキャンドルに11月15日に尚絅学院大学の学生ボランティアが大学の教室内で絵付け作業をしました。ペンで絵付けをしたり、イラストを印刷した紙を切ったのりを使って貼り付けたりと作業を楽しんでいました。この絵付けしたエッグキャンドルは12月22日のカフェ「mon st.lou」で行われたキャンドルナイトに使用しました。

MELONcafeはこのような講座と一緒に考えてくれる方を大募集しています。1時間でできるプチ講座を企画してみたいという方は、事務局までお声がけください。お待ちしております！



12月：キャンドルナイトを楽しくすごしました

次回：1月22日(土) 13:30～  
 「保温調理で簡単プリン作り」  
 場所：MELON事務局

## 手動式生ごみ処理機の実験開始

MELONごみ減量プロジェクトでは「家庭からのごみ減量」活動の一環として、「手動式生ごみ処理機」の使用実験に取り組むこととしました。

生ごみは家庭排出ごみの4割を占めるだけでなく、そのまま置くとにおいと腐敗のために不衛生となり毎週2回、定期的にごみ出しを行わなければならない要因になっています。また、水分の多い状態で「家庭ごみ袋」に入れるために分別が進みません。

生ごみの減量に取り組もうと思ったときに、コンポスターや密閉式堆肥化容器は手間が大変で、手軽に行おうとすれば電気式生ごみ処理機になってしまいます。しかし、生ごみ処理に電気を使うということに抵抗感のある方が多いのも事実です。

そこで、MELONでは市場に出ているハンドル付きの「手動式生ごみ処理機」について使用実験をして、結果が良ければメンバーへの紹介や行政の補助対象として提言しようと考えています。実験では一般家庭での使用状

況に合わせて使ってみて、使用上の問題点とその克服策等を検証しようと計画しています。

実験は1月中旬より開始し、夏頃までには一定の結論が得られるようなスケジュールでおこないます。情報紙やホームページで報告していきますので、ご期待ください。



## ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.48

### 新しい環境学習教材をご紹介します！

この度新たに2つの環境学習教材が加わりました！地球温暖化対策がなかなか進まない理由の一つは、自分の生活がどのように関わっているかを実感しにくいことにあります。今回ご紹介するプログラムはどちらも自分の生活を見つめなおし、普段は意識していなくても、また今は当たり前のように思っていることも実は地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出に結びついていること、そしてどんな対策ができるのかを考えるものです。

10月30日(土)には白熱灯／蛍光灯／LEDの特徴についてのお話や電球比較装置、家庭のエコ度をチェックできる「エコ度チェックソフト」についての説明（講師：推進員4期生大友浩一氏）と共に推進員の方々を対象に教材の説明会を行い、「子どもたちへのメッセージをグッズを通して伝えられる」「使い方次第で幅広い人に啓発できる奥が深い教材」とのコメントをいただきました。

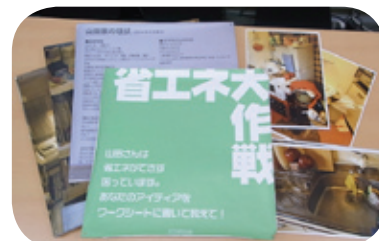
プログラムを体験してみたい、自分の活動の中で使いたいという方は是非センターまでご連絡ください！



推進員対象説明会 子どもたちにどのように伝えるかを考えます

#### ①ライフスタイル研究所～省エネ大作戦～

ある家庭の今の様子が大きな写真パネルになっています。ものが散らかり、テレビもパソコンも誰もいないのにつけっぱなしで全く環境にやさしくありません。パネルを見て、省エネやモノとの付き合いかた、暮らし方までどんなところをどんな風に変えていけるのかを考えるプログラムです。台所編もあります。



ライフスタイル研究所～省エネ大作戦～

【対象】小学4年生以上 【所要時間】約30分

#### ②うちのアルバム

2冊の大型アルバム（A2サイズ）を使用します。1冊は1900年から現在までの写真を集めた「100年のアルバム」です。そしてもう1冊は1970年生まれの女性が産声を上げてから一児の母になるまでを追った「今日子ちゃんのアルバム」。電化製品の普及率のグラフが掲載されていて、ライフスタイルがどのように変わっていったのかわかります。



うちのアルバム

【対象】小学5年生以上 【所要時間】約30分

### メキシコ・カンクンで開催された COP16 に2名を派遣しました

2010年11月29日～12月10日までメキシコ・カンクンで開かれた地球温暖化に関する国際会議、COP16（気候変動枠組条約第16回締約国会議）。名古屋議定書の採択が記憶に新しいCOP10と同じ略称ですが、実はこれは「締約国会議」の部分の略称で両者は異なる会議です。MELONからは阿部育子ストップ温暖化センターみやぎ副センター長、江刺家由美子事務局員を派遣しました。センターのウェブサイトにてレポートを掲載しているほか、報告会を行う予定（日時未定）ですのでどうぞお楽しみに！



メキシコの小学生が作った地球の模型  
「このままだと将来こうなる」「こんな地球になってほしい」

91 号の投稿テーマ

**私の寒さ対策**

○自宅で

耐える。スポンを2枚はく。こたつの電源を入れず中に毛布を入れて、足をくるむ。夜は早く寝る。スリッパをはく。湯船の栓をしてシャワーを浴びる。脱衣所に出ずに風呂場で体や髪をふく。友達とキムチ鍋をたべる。

○原付で

手袋を2枚重ね。タウンの上にかっぱを着る。

○他

髪を長めにする。大学などに行き自宅にあまりいない。  
ペンネーム「K.S」

生姜が欠かせません！寒い季節は体の中からあたためる事も大事、体を冷やす生野菜は厳禁です。生姜は冷凍しておく、おろし金に繊維がからまずらくにすりおろせます。はちみつと混ぜて小瓶に入れば持ち歩きも可。職場でも紅茶やハーブティーに入れて飲んでいます。  
ペンネーム「りん」

スポンの中にストッキングやタイツをはく。保温性のある下着を中に着ると、薄着でもあったかいです。  
ペンネーム「レモン」

家でストーブではなく、電気カーペットをつけて際にブランケットをかけています。モコモコした靴下もはいています。  
匿名希望

**投稿募集**

92 号テーマ

**「最近私の周りではやっているエコ」**

家族の中や友達の間、会社など身近でひそかにはやっているエコを教えてください。マイブームでも OK です♪

**投稿方法**

■投稿文とペンネームを明記し、メール・FAX・ハガキ等にて MELON へお寄せください。

ケータイからの投稿は QR コードからご覧いただくが簡単です。



■締め切り：2月10日（木）

**編集後記**

- 10月からセンタースタッフに入りました。新しい事の連続で日々勉強の毎日ですが、一つ一つがんばっていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。(岸)
- インターネットは便利だと思いますが、次々出る新サービスについていけません。ツイッターやフェイスブックなど手は出してみるのが、さっぱり使いこなせません…。もう年ですかね。(小林)
- 寒いのは嫌いです。あまりに寒いと生命の危機を感じます。でも温暖化するのはもっと嫌です。やはり耐えるしかないのか…みなさんの寒さ対策参考にします。(廣重)

**MELON イベント情報**

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくは MELON 事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

1/13 (木)	エコシティ仙台プロデュースプロジェクト 例会
1/14 (金)	緑・食部会 名取の畑見学会
1/15 (土)	第 11 回 MELON 環境市民講座 「キルト作りカフェ〜ドイツのエコな暮らし〜」
1/17 (月)	ごみ減量プロジェクト 例会
1/19 (水)	自然エネルギー普及プロジェクト 例会
1/22 (土)	MELONcafe プチ講座 「保温調理器で簡単プリン作り」
1/25 (火)	MELON 情報センター 運営委員会
1/29 (土)	第 12 回 MELON 環境市民講座 「冬の渡り鳥を見に行こう！ 〜ガンのねぐら入り〜」
1/31 (月)	みやぎウォームビズ宣言 2011 〜「家」から温暖化を考える(仮)〜
2/ 3 (木)	企業&環境プロジェクト 例会
2/11 (金・祝)	水部会例会 MELONcafe プチ講座 「米粉で簡単♪スイーツ作り」
2/19 (土)	第 13 回 MELON 環境市民講座 「森の木でかわいい木工クラフト作り (仮) 〜うさぎとふくろう〜」

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

**会員状況**

1,030 名

- 法人 103
- 任意団体 15
- 個人 912

2010 年 12 月 15 日現在

**ボランティアポイントカードをご活用ください**

部会・プロジェクトの例会、イベントにボランティア参加する際にボランティアポイントカードをお持ちください。1 回の参加で 1 スタンプを捺印します。5 つ貯まると MELON 協力商品券 (1,000 円分) と交換できます。カードを紛失した方は事務局までご連絡いただければ再発行いたします。



**MELON 協力商品券を利用しましょう。**

「MELON 協力商品券」を積極的にご利用ください。利用額の一部が MELON に寄附され、皆さんの日頃のお買い物行動から環境を守る活動に役立つ仕組みが作られています。



この印刷物は、輸送マイルージ低減による CO<sub>2</sub> 削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。

発行元 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5710

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL http://www.melon.or.jp/melon/

